2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月1日

上場会社名　麻生フオームクリート株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1730　URL　http://www.asofoam.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 花岡 浩一
問合せ先責任者　(役職名) 財務経理部長　(氏名) 植村 亮二　TEL 044-422-2061
四半期報告書提出予定日　2019年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,816	△0.4	△42	―	△39	―	△32	―
2019年3月期第2四半期	1,823	△9.2	△163	―	△161	―	△120	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△9.66	―
2019年3月期第2四半期	△35.37	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,194	1,285	40.3
2019年3月期	3,721	1,337	35.9

(参考) 自己資本　2020年3月期第2四半期　1,285百万円　2019年3月期　1,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2020年3月期	―	0.00			
2020年3月期 (予想)			―	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2020年 3月期の業績予想 (2019年 4月 1日～2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	5.1	90	122.4	95	92.1	66	119.5	19.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	3,420,000 株	2019年3月期	3,420,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,194 株	2019年3月期	6,194 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	3,413,806 株	2019年3月期2Q	3,413,806 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
３．補足資料 …… 9
受注高、完成工事高及び繰越工事高 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易戦争の長期化により輸出を中心に生産の一部に弱さが見られるなど、景気は不透明な状況となりましたが、雇用・所得の改善や消費税増税前の堅調な個人消費、また業況悪化が見られたものの底堅い設備投資などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共工事の請負金額は、震災復興事業の反動減で東北地方のみが落ち込みましたが、「防災・減災、国土強靭化のための３カ年緊急対策」を始めとする各種政策の効果により堅調に推移し、また資材価格や労務費の上昇傾向は弱まったものの、受注価格競争は依然として激しく、採算面では厳しい状況が続きました。

このような状況の下、組織として分けていた気泡コンクリート工事部門と地盤改良工事部門を当事業年度から一体化し、営業力の増強と施工の効率化をはかり、受注量の獲得と収益性の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第２四半期累計期間の業績は、地盤改良工事の受注高は大型工事の失注があったものの増加しましたが、気泡コンクリート工事の受注高が見込んでいた工事の発注遅れなどから大幅に減少したことで、工事全体の受注高は1,477百万円（前年同期比36.0％減）と減少し、また一部大型工事の工期のずれ込みなどもあり計画は未達成でしたが、前事業年度からの繰越工事の施工が順調に推移したことから売上高は1,816百万円（前年同期比0.4％減）と微減に止まりました。

各段階の損益につきましては、人員増により人件費が増加しましたが、施工の効率化に努めたことで完成工事総利益率は対前年同期比で改善し、また前年同期には取引先の経営破綻に伴う貸倒引当金繰入額の計上があったことから、営業損失42百万円（前年同期は営業損失163百万円）、経常損失39百万円（前年同期は経常損失161百万円）、四半期純損失32百万円（前年同期は四半期純損失120百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るという傾向があります。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ527百万円減少し3,194百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が216百万円、電子記録債権が165百万円、受取手形が72百万円、完成工事未収入金が47百万円それぞれ減少したことなど流動資産の減少などによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ476百万円減少し1,908百万円となりました。その主な要因としましては、長期借入金が76百万円増加したものの、電子記録債務が196百万円、支払手形が141百万円、未払金が80百万円、工事未払金が69百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ51百万円減少し1,285百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いのほか当第２四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第２四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は174百万円（前年同期は91百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純損失41百万円、減価償却費44百万円、売上債権の減少281百万円、仕入債務の減少401百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は86百万円（前年同期は21百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は44百万円（前年同期は122百万円の収入）となりました。これは主に,長期借入れによる収入200百万円などによるものであります。

これにより当第２四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ216百万円減少し、503百万円となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、今後気泡コンクリート工事の受注が見込まれることから、2019年10月25日に公表しました2020年３月期（通期）の業績予想に変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年３月31日)	当第２四半期会計期間 (2019年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	719,315	503,066
受取手形	259,558	187,233
電子記録債権	358,765	193,094
完成工事未収入金	622,532	575,152
売掛金	1,314	5,597
未成工事支出金	4,451	8,651
原材料及び貯蔵品	61,443	51,037
前払費用	13,985	16,627
その他	7,957	7,391
流動資産合計	2,049,323	1,547,854
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	55,417	52,729
構築物（純額）	930	837
機械及び装置（純額）	168,430	148,707
車両運搬具（純額）	2,465	1,753
工具、器具及び備品（純額）	7,625	7,535
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	48,901	39,499
建設仮勘定	390	3,672
有形固定資産合計	1,385,020	1,355,593
無形固定資産		
ソフトウエア	936	604
リース資産	8,880	6,660
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	12,167	9,614
投資その他の資産		
投資有価証券	25,564	21,523
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	1,826	1,617
繰延税金資産	128,665	138,657
敷金	14,485	14,680
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	275,300	281,238
固定資産合計	1,672,488	1,646,446
資産合計	3,721,812	3,194,300

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年３月31日)	当第２四半期会計期間 (2019年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	394,421	253,096
電子記録債務	386,655	189,985
工事未払金	398,177	328,730
短期借入金	10,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	227,200	233,200
リース債務	24,555	23,501
未払金	145,350	64,858
未払費用	4,097	5,607
未払法人税等	23,598	5,608
未払消費税等	19,323	16,491
未成工事受入金	25,825	5,522
賞与引当金	25,944	32,862
工事損失引当金	5,249	－
その他	6,345	2,082
流動負債合計	1,696,742	1,169,547
固定負債		
長期借入金	387,900	458,300
リース債務	38,033	26,341
退職給付引当金	212,755	224,972
役員退職慰労引当金	48,937	29,196
固定負債合計	687,625	738,810
負債合計	2,384,368	1,908,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	909	856
繰越利益剰余金	39,637	△10,370
利益剰余金合計	949,596	899,535
自己株式	△1,529	△1,529
株主資本合計	1,337,666	1,287,605
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△222	△1,663
評価・換算差額等合計	△222	△1,663
純資産合計	1,337,443	1,285,942
負債純資産合計	3,721,812	3,194,300

（２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）
売上高	1,823,315	1,816,250
完成工事高	1,780,550	1,795,501
商品売上高	42,764	20,749
売上原価	1,543,897	1,519,571
完成工事原価	1,516,179	1,504,978
商品売上原価	27,717	14,592
売上総利益	279,418	296,679
完成工事総利益	264,371	290,523
商品売上総利益	15,046	6,156
販売費及び一般管理費		
役員報酬	22,839	20,223
従業員給料手当	94,818	109,110
賞与引当金繰入額	14,455	20,318
退職金	－	1,341
退職給付費用	6,268	7,398
役員退職慰労引当金繰入額	3,803	3,759
法定福利費	18,801	21,610
福利厚生費	1,101	1,403
修繕維持費	5,987	6,328
事務用品費	2,302	2,531
通信交通費	28,383	29,105
動力用水光熱費	3,091	3,078
調査研究費	20,237	19,313
広告宣伝費	2,030	1,683
貸倒引当金繰入額	128,470	－
交際費	6,816	5,913
地代家賃	19,382	19,151
減価償却費	7,915	7,379
租税公課	11,168	11,042
保険料	2,191	2,294
雑費	43,270	46,446
販売費及び一般管理費合計	443,336	339,435
営業損失（△）	△163,917	△42,755

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）
営業外収益		
受取利息	1	2
受取手数料	138	141
受取配当金	416	462
受取技術料	4,992	5,321
雑収入	348	360
営業外収益合計	5,897	6,288
営業外費用		
支払利息	2,523	2,343
為替差損	147	252
雑支出	764	495
営業外費用合計	3,436	3,090
経常損失（△）	△161,456	△39,557
特別利益		
固定資産売却益	499	－
特別利益合計	499	－
特別損失		
減損損失	6,064	－
固定資産除却損	0	－
投資有価証券評価損	－	1,981
特別損失合計	6,064	1,981
税引前四半期純損失（△）	△167,020	△41,538
法人税、住民税及び事業税	1,080	826
法人税等調整額	△47,362	△9,373
法人税等合計	△46,282	△8,547
四半期純損失（△）	△120,738	△32,991

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△167,020	△41,538
減価償却費	35,337	44,501
貸倒引当金の増減額（△は減少）	128,470	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13,817	12,216
賞与引当金の増減額（△は減少）	7,893	6,918
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,803	3,759
工事損失引当金の増減額（△は減少）	－	△5,249
受取利息及び受取配当金	△418	△464
支払利息	2,523	2,343
為替差損益（△は益）	147	252
減損損失	6,064	－
固定資産売却益	△499	－
固定資産除却損	0	－
投資有価証券評価損益（△は益）	－	1,981
売上債権の増減額（△は増加）	△117,755	281,092
未成工事支出金の増減額（△は増加）	19,946	△4,199
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,857	10,405
仕入債務の増減額（△は減少）	137,153	△401,662
未払金の増減額（△は減少）	3,603	△12,456
未払消費税等の増減額（△は減少）	2,310	△2,831
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△2,669	△20,302
その他	28,793	△7,407
小計	93,644	△132,642
利息及び配当金の受取額	418	464
利息の支払額	△2,517	△2,377
役員退職慰労金の支払額	－	△23,500
法人税等の支払額	△67	△16,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,478	△174,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,028	△86,233
有形固定資産の売却による収入	500	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,528	△86,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△24,000	△2,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△120,300	△123,600
リース債務の返済による支出	△16,175	△12,745
配当金の支払額	△16,955	△17,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,568	44,482
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	192,518	△216,248
現金及び現金同等物の期首残高	374,839	719,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,358	503,066

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

３．補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

（単位：千円、％）

期　別 工事別	前第２四半期累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年９月30日）		当第２四半期累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）		前事業年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,867,854	81.0	998,044	67.6	3,510,954	80.4
地盤改良工事	445,240	19.3	477,366	32.3	771,439	17.7
その他工事	△6,300	△0.3	1,900	0.1	82,950	1.9
合計	2,306,794	100.0	1,477,310	100.0	4,365,344	100.0

(2) 完成工事高

（単位：千円、％）

期　別 工事別	前第２四半期累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年９月30日）		当第２四半期累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）		前事業年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,213,916	68.2	1,275,839	71.1	3,232,059	76.8
地盤改良工事	522,385	29.3	473,062	26.3	880,476	20.9
その他工事	44,248	2.5	46,599	2.6	94,707	2.3
合計	1,780,550	100.0	1,795,501	100.0	4,207,243	100.0

(3) 繰越工事高

（単位：千円、％）

期　別 工事別	前第２四半期累計期間末 2018年９月30日		当第２四半期累計期間末 2019年９月30日		前事業年度末 2019年３月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,157,020	87.7	504,182	79.5	781,977	82.1
地盤改良工事	124,664	9.4	97,077	15.3	92,773	9.7
その他工事	38,783	2.9	32,874	5.2	77,574	8.2
合計	1,320,468	100.0	634,133	100.0	952,324	100.0

（注）１．前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがいまして、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。

２．当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。